

| 重点取組分野 | 令和 元 年度 | | 総括 | 重点取組分野 | 令和 2 年度 | | 総括 | 重点取組分野 | 令和 3 年度 | | 総括 | |
|------------------|--|--|----|------------------|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | 具体的取組 | 自己評価結果 | | | 具体的取組 | 自己評価結果 | | | 具体的取組 | 自己評価結果 | | |
| 確かな学力 | 組織を生かした研究・研修を充実させ、教職員一人ひとりの授業力向上を図る。授業のユニバーサルデザイン化を取り入れ、どの子にも分かる授業を目指す。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、実行する | 学年研・重点研などを活用し、授業力向上を図った。特別活動では、重点研究に取り組み、「主体的に活動し、よりよい人間関係を育む子」を目指して実践した。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、指導に役立てた。 | A | 確かな学力 | 組織を生かした研究・研修を充実させ、教職員一人ひとりの授業力向上を図る。授業のユニバーサルデザインを重視し、どの子にも分かる授業を目指す。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、実行する。 | 学年研・重点研などを活用し、授業力向上を図った。特別活動では、重点研究に取り組み、「主体的に活動し、よりよい人間関係を育む子」を目指して実践した。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、指導に役立てた。評価の研修を行った。 | B | 確かな学力 | 組織を生かした研究・研修を充実させ、教職員一人ひとりの授業力向上を図る。授業のユニバーサルデザインを重視し、どの子にも分かる授業を目指す。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、実行する。 | 学年研・重点研などを活用し、授業力向上を図った。特別活動では、重点研究に取り組み、「主体的に活動し、よりよい人間関係を育む子」を目指して実践した。学力・学習状況調査結果を分析し、各学年の実態を捉えて具体的手立てを考え、指導に役立てた。評価の研修を行った。 | B | |
| 豊かな心 | ひとり一人の存在を大切に、子どもに寄り添った指導と安心安全な学校、学級づくりに努める。とくに、年間を通じた道徳科の授業の充実を図るとともに、地域の福祉施設との交流を継続して行う。また、児童人権福祉委員会を中心とした児童の主体的な活動を大切に、人権意識を高めていく | 人権福祉委員会では、あいさつ活動やユニセフ募金など、児童が主体となって人権意識を高める活動を行った。また、人権週間では、人権に関する本の読み聞かせやポッチャの体験を通して、自分と他者の人権を大切にしようとする意識を高めることができた。 | B | 豊かな心 | ひとり一人の存在を大切に、子どもに寄り添った指導と安心安全な学校、学級づくりに努める。年間を通じた特別の教科道徳の授業充実を図るとともに、地域の福祉施設との交流を継続して行う。また、児童会活動の人権福祉委員会を中心として、児童主体的な活動を大切に、人権意識を高めていく | B | 豊かな心 | ひとり一人の存在を大切に、子どもに寄り添った指導と安心安全な学校、学級づくりに努める。年間を通じた特別の教科道徳の授業充実を図るとともに、地域の福祉施設との様々な交流を行う。また、児童会活動の人権福祉委員会を中心に、児童主体の活動を大切に職員研修を充実させ、人権意識を高めていく。 | ひとり一人の存在を大切に、子どもに寄り添った指導と安心安全な学校、学級づくりに努める。年間を通じた特別の教科道徳の授業充実を図るとともに、地域の福祉施設との様々な交流を行う。また、児童会活動の人権福祉委員会を中心に、児童主体の活動を大切に職員研修を充実させ、人権意識を高めていく。 | B | | |
| 健やかな体 | 学校保健委員会を中心に児童の健康課題に向けた取り組みを全教職員で検討し実施する。学校三師による喫煙防止教室や薬物乱用防止教室を実施する。「かつらこマラソン」「新体力テスト」体育基本調査の分析を実施し、児童の課題意識を高めなが、実態に合った目標設定をし、心と体のよりよい成長につなげていく | 学校保健委員会では、「伝え上手に聞き上手」というテーマで、自分を理解してもらう伝え方、相手の話を聞く態度を育てるために、グループワーク等を実施した。「かつらこマラソン」の実施や「新体力テスト」体育基本調査の分析を共有し、体力についての課題を明確にして、今年度の体力向上への手立てを考えた。 | B | 健やかな体 | 学校保健委員会を中心に児童の健康課題に向けた取り組みを検討し、実施する。体育委員会は長縄集会など年間を通じて定期的な外遊びを実施し体力向上と健やかな体作りに取り組む。昨年度の「新体力テスト」体育基本調査の分析を共有し、体力についての課題を明確にして、今年度の体力向上への手立てを考えた。 | 今年度は、「長縄集会」や「マラソン大会」など体力を高める運動をする機会が失われたが、「外遊びweek」では、朝学習の時間に特別に運動をする機会を設けたり、ベア学年との関わりを深めた「ベア学年長縄週間」を実施し、定期的に運動を促す計画を実施することができた。学校保健委員会では、「病気になる元気を体をつくらせよう」というテーマで、児童保健委員会が作成したVTRを元に感染症予防の大切さ呼びかけ各クラスでテーマに沿った取り組みを行った。 | B | 健やかな体 | 学校保健委員会を中心に児童の健康課題に向け、児童委員会活動も巻き込んだ取り組みを検討し、実施する。学校医による喫煙防止教室を実施する。全校で一緒に運動をする機会を得ることは難しいと思うが、体力を高める運動を体育委員会が中心となり、体を動かす機会を定期的に計画していく。 | 学校保健委員会を中心に児童の健康課題に向け、児童委員会活動も巻き込んだ取り組みを検討し、実施する。学校医による喫煙防止教室を実施する。全校で一緒に運動をする機会を得ることは難しいと思うが、体力を高める運動を体育委員会が中心となり、体を動かす機会を定期的に計画していく。 | B | |
| 安全管理 | 学年に合った指導を行う。①交通安全教室②登下校の仕方子どもと子どもの実態に応じた課題を挙げ、指導する。長期休み明けには③集団登校を行い、保護者、地域との連携を図る。④防犯教室、サイバー教室を行い、自分の身は自分で守る意識を強くもてるようにする。 | 交通安全教室や登下校時の見守り、集団登校などを通じて、警察署や保護者、学援隊をはじめ地域の方々との連携を続けていく。また、朝会など全校が集まる場を活用し、交差点の渡り方や歩道の歩き方などについて、なるべく定期的に子どもたちへの指導を行うようにする。 | B | 安全管理 | 交通安全教室や登下校時の見守り、集団登校などを通じて、警察署や保護者、学援隊をはじめ地域の方々との連携を続けていく。また、朝会など全校が集まる場を活用し、交差点の渡り方や歩道の歩き方などについて、なるべく定期的に子どもたちへの指導を行うようにする。 | 例年通りの活動は難しかったが、できる形を検討し安全についての指導を行った。交通安全教室では、DVDを視聴し交通ルールを学んだ。また、登下校時は、学援隊や保護者の方の協力を得て見守りを行った。 | B | 安全管理 | 例年通りの活動だけでなく、子どもたちの実態に応じた指導を計画していく。交通安全教室では、自転車の乗り方や道路の歩き方を学年に応じて指導する。防犯チェックシートを各家庭に配布し家庭でも安全について話ができる機会を提供する。サイバー防犯教室では、ネットの正しい使い方についても指導する。 | 例年通りの活動は難しかったが、できる形を検討し安全についての指導を行った。交通安全教室では、DVDを視聴し交通ルールを学んだ。また、登下校時は、学援隊や保護者の方の協力を得て見守りを行った。 | B | |
| 児童指導 | 教職員の意識をより高めるため、児童理解研修を行う。児童の実態に応じ、一貫した指導・支援を行う。学年研やブロック研で話し合う時間を設定し、情報の共有をしっかりと行うことで、児童が安心して学校生活を送れるようにする。聞き取りメモを活用し状況を細かく把握し、チームで対応できる取組とする。学校のきまりを年度当初に児童・保護者から引き継がれた個別の学習指導計画をもとに、児童の目標に合った支援内容を実施していく。学年研等の時間を使って、見直し、修正していく。特別支援委員会を定期的に開催し、支援方法の検討や振り返りを行う。関係機関との連携も密に行い、児童が安心して生活を送れるよう支援していく | 児童理解研修を2回行い、児童指導・支援についての意識を高めることができた。また、個別に指導し際には、聞き取りメモを活用し、担任だけではなく学校全体で指導を共有できるようにした。また、各クラスでは学校のきまりを年度初めに提示し、安全に安心した学校生活を送ることができた。 | B | 児童指導 | 児童理解研修を行い、児童指導についての具体的な方法を職員で共有する。学年やブロックでの児童指導に関する情報共有ができるように、聞き取りメモや児童理解メモを活用する。指導に際しては、学校のきまりやスタンダードを活用し、一貫した指導ができるようにする。 | 児童理解研修では、模擬問題解決型ケース会議を開催し、児童の指導に際しては、学校のきまりやスタンダードを確認し、一貫した指導になるよう努めた。 | B | 児童指導 | 学校の現状に応じ、必要性の高い児童理解研修を計画、実施していく。児童指導に関する情報共有ができるよう、聞き取りメモや児童理解メモを活用し、職員会議でも共有し合う。学校のきまりやスタンダードを見直し、一貫した指導ができるようにする。 | 学校の現状に応じ、必要性の高い児童理解研修を計画、実施していく。児童指導に関する情報共有ができるよう、聞き取りメモや児童理解メモを活用し、職員会議でも共有し合う。学校のきまりやスタンダードを見直し、一貫した指導ができるようにする。 | B | |
| 特別支援教育 | 必要に応じて個別の教育支援計画や指導計画を立て、個に応じた支援ができるようにした。また、見直し、修正する時間を設定した。関係機関と連携し、助言を活用しながら支援改善を図った。 | 必要に応じて個別の教育支援計画や指導計画を立て、個に応じた支援ができるようにした。また、見直し、修正する時間を設定した。関係機関と連携し、助言を活用しながら支援改善を図った。 | B | 特別支援教育 | 前年度までの支援を再検討し、必要に応じて個別の教育支援計画・指導計画を作成し、児童の目標に合った支援内容を実施していく。特別支援委員会を開催し、支援内容の共有を図る。関係機関との連携を図り、児童が安心して生活を送れるよう支援していく。 | 個別の支援計画・指導計画を学級での支援に生かせるようにアセスメントをしっかりと行い、児童の目標に合った支援内容を実施していく。必要に応じて関係機関と連携を図り、指導・支援の改善をすることができた。 | B | 特別支援教育 | 必要に応じて個別の教育支援計画・指導計画を作成し、児童の目標にあった支援を実施していく。また支援内容を振り返り改善していく。特別支援委員会では、具体的な支援内容の検討や関係機関との連携の必要性を話し合っていく。 | 必要に応じて個別の教育支援計画・指導計画を作成し、児童の目標にあった支援を実施していく。また支援内容を振り返り改善していく。特別支援委員会では、具体的な支援内容の検討や関係機関との連携の必要性を話し合っていく。 | B | |
| 地域連携 | 「朋」「径」「ケアプラザ」「ライフコートさかえ」の近隣の福祉施設と交流し、様々な人と出会い心の成長につなげる。地域の人材を活用した体験的な学習をしていく。また、幼保小連携推進地区3年目として、桂台保育園・公田保育園と協力連携し小学校への滑らかな接続をめざす。 | 「朋」「径」「ケアプラザ」「ライフコートさかえ」の近隣の福祉施設と交流し、様々な経験を積むことができた。回数を重ねることによりよい関係を築き上げた。地域の人材を活用した体験的な学習を通して、より地域に目を向けるようになった。保育園との交流を通して、相手のことを考えて優しく接したり、内容を企画したりする喜びを感じるようになった。 | B | 地域連携 | 「朋」「径」「ケアプラザ」「ライフコートさかえ」の近隣の福祉施設と交流し、様々な人と出会い心の成長につなげる。地域の人材を活用した体験的な学習をしていく。また、幼保小連携推進地区4年目として、桂台保育園・公田保育園と協力連携し小学校への滑らかな接続をめざす。 | 近隣の福祉施設との交流は、感染症拡大防止の観点から行うことができなかった。50周年の際に「径」の方々から記念品をいただいたので、お礼に人権福祉委員会から手紙を渡した。 | B | 地域連携 | 感染症拡大防止についての対策を考え、福祉施設の方と相談しながら、新たな形での交流を模索していく。また、桂台保育園、公田保育園と協力・連携し、小学校への滑らかな接続をめざす。 | 近隣の福祉施設との交流は、感染症拡大防止の観点から行うことができなかった。50周年の際に「径」の方々から記念品をいただいたので、お礼に人権福祉委員会から手紙を渡した。 | B | |
| | | | | | | | | | c8 | | | |
| いじめへの対応 | 〇「いじめ」を許さない態度を徹底する〇YPや研修、アンケートを通して関わりを分析し、クラスや学年の取組を具体的に見出す。実態を把握しより良い学級づくりに繋げていく〇児童が相談しやすい学級、学校作りを努める。〇「人権福祉委員会」「代表委員会」など主体的な活動が充実し、児童の意識が高まるようにする | 月1回以上いじめ防止対策委員会を開き、未然にいじめを防止するよう努めた。また、YPやアンケート、教育相談等を実施し、実態を把握するようにした。人権福祉委員会が挨拶運動を実施し、子どもたちによる「居心地の良い学校づくり」のための活動を行った。 | B | いじめへの対応 | YPやアンケートを実施し、子どもたちの実態の把握に努め、より良い学級づくりに繋げていく。いじめを絶対に許さない態度を徹底していく。いじめ防止委員会を定期的に開催する。学校いじめ防止基本方針を見直し、よりよい方針を示していく。 | YPやアンケートの結果から横浜プログラムを取り入れ、安心できる学級づくりに努めた。また、教育相談を適宜行うことにより実態把握に努めた。いじめ防止委員会では、いじめに関する情報共有を常に行い、学校全体で取り組めるようにしていた。 | B | いじめへの対応 | 子どもたちの実態を把握していくために、YPやアンケート、教育相談等を実施していく。横浜プログラムを実施するなどして、いじめを絶対に許さない態度を徹底していく。必要に応じていじめ防止対策委員会を開き、学校としての対応を検討していく。学校いじめ防止基本方針を見直し、よりよい方針を示していく。 | 子どもたちの実態を把握していくために、YPやアンケート、教育相談等を実施していく。横浜プログラムを実施するなどして、いじめを絶対に許さない態度を徹底していく。必要に応じていじめ防止対策委員会を開き、学校としての対応を検討していく。学校いじめ防止基本方針を見直し、よりよい方針を示していく。 | B | |
| 人材育成・組織運営(働き方改革) | 日々の子どもたちとのかわりにつなげられるよう、若手教員の困り感を取り上げ、模擬授業や実技研修、児童・保護者対応に関する事例検討などを行う。職員会議などの各会議の持ち方を工夫し、時間短縮を図っていく。あゆみ作成日や会議のない日を設定し、純粋に学級事務ができる時間を確保していく。各組織の主任を中心に、児童 | 経験のある教員の実技研修により、教材研究を深めることが出来た。働き方の改善では定時退勤日、あゆみ作成日、教育課程作成日、各教科の評価規準作成日などを設定し、勤務時間内で作業ができるようにした。職員会議は時間が延長してしまっているのが更なる改善が必要である。 | B | 人材育成・組織運営(働き方改革) | 若手教員から気になること、知りたいことを抽出し、先輩教員を中心に実技研修を開催する。また、毎回の研修後に相談会を設け、悩みを共有する。引き続き事務的作業日を設定していく。職員会議については、時間を確保するために授業を5時間としていく。50周年事業に関わる作業も入ってくるので、会議の時間が勤務時間外とならないようにしていきたい。 | 今年度のメンターでは、なかなか計画通りにいかない中でも、先輩教員からYPの活用方法を学んだり、授業を開催していただいたりして学びを深めることができた。職員会議の日は5時間授業としたり、時間を意識するために提案時間をレジュメに記載したり効率よく行えた。ミララムを活用し、週1回の打ち合わせにすることができた。 | B | 人材育成・組織運営(働き方改革) | 年度初めにメンターチームからのアンケートをもとに年間計画を考える。メンターチームだけで研修を行うのではなく、校内研修として広げてほしいのではないかと考える。組織を生かして業務を割振りし、検討内容や決定事項などを職員会議や打ち合わせで話し合ったり、周知したりし、円滑に且つ効率的に行えるようにしていきたい。 | 年度初めにメンターチームからのアンケートをもとに年間計画を考える。メンターチームだけで研修を行うのではなく、校内研修として広げてほしいのではないかと考える。組織を生かして業務を割振りし、検討内容や決定事項などを職員会議や打ち合わせで話し合ったり、周知したりし、円滑に且つ効率的に行えるようにしていきたい。 | B | |
| ブロック内評価後の気付き | 3校のスタンダードについては昨年度に引き続き、昇降口に横断幕を掲げ、いつでも目にするようにした。新指導要領の実施に向け、昨年度3校職員で話し合った育てたい資質・能力の見直しを行い、9年間の学びのプロセスを確認した。そして、その資質・能力を育てるための授業を本校で公開し、私たち教師の指導の在り方を模索することができた。講演会では、「多様な性のあり方をテーマに話を聞かせていただいた。その中でなぜ学校で多様な性について考える必要があるのか、学校での配慮が今後当たり前になることを目指すこと、私たちの教職員の当たり前」 | 今年度は、小学校が新学習指導要領完全実施だったため、改めてイメージシートに記載されている段階的な育てたい資質・能力を確認した。そしてこの設定が児童・生徒の実態に合っているかを検証し、確認する予定だったが、それがかなわず来年度に持ち越しとなった。ブロック内の横浜子ども会議は、リモート会議という形で実施した。近隣小学校の取組報告を聞いた児童が、その取組の良さや共感し、発信源となり「EAGOプロジェクト」と銘打って児童人権福祉委員会が主催して、本校でも同様の活動を実施した。職員同士は障害者スポーツを通して、交流を深めながら「ポッチャ」を体験した。互いに良い影響を与え合うことができた。 | B | ブロック内評価後の気付き | 今年度は、小学校が新学習指導要領完全実施だったため、改めてイメージシートに記載されている段階的な育てたい資質・能力を確認した。そしてこの設定が児童・生徒の実態に合っているかを検証し、確認する予定だったが、それがかなわず来年度に持ち越しとなった。ブロック内の横浜子ども会議は、リモート会議という形で実施した。近隣小学校の取組報告を聞いた児童が、その取組の良さや共感し、発信源となり「EAGOプロジェクト」と銘打って児童人権福祉委員会が主催して、本校でも同様の活動を実施した。職員同士は障害者スポーツを通して、交流を深めながら「ポッチャ」を体験した。互いに良い影響を与え合うことができた。 | 今年度は、小学校が新学習指導要領完全実施だったため、改めてイメージシートに記載されている段階的な育てたい資質・能力を確認した。そしてこの設定が児童・生徒の実態に合っているかを検証し、確認する予定だったが、それがかなわず来年度に持ち越しとなった。ブロック内の横浜子ども会議は、リモート会議という形で実施した。近隣小学校の取組報告を聞いた児童が、その取組の良さや共感し、発信源となり「EAGOプロジェクト」と銘打って児童人権福祉委員会が主催して、本校でも同様の活動を実施した。職員同士は障害者スポーツを通して、交流を深めながら「ポッチャ」を体験した。互いに良い影響を与え合うことができた。 | B | ブロック内評価後の気付き | 今年度は、小学校が新学習指導要領完全実施だったため、改めてイメージシートに記載されている段階的な育てたい資質・能力を確認した。そしてこの設定が児童・生徒の実態に合っているかを検証し、確認する予定だったが、それがかなわず来年度に持ち越しとなった。ブロック内の横浜子ども会議は、リモート会議という形で実施した。近隣小学校の取組報告を聞いた児童が、その取組の良さや共感し、発信源となり「EAGOプロジェクト」と銘打って児童人権福祉委員会が主催して、本校でも同様の活動を実施した。職員同士は障害者スポーツを通して、交流を深めながら「ポッチャ」を体験した。互いに良い影響を与え合うことができた。 | 今年度は、小学校が新学習指導要領完全実施だったため、改めてイメージシートに記載されている段階的な育てたい資質・能力を確認した。そしてこの設定が児童・生徒の実態に合っているかを検証し、確認する予定だったが、それがかなわず来年度に持ち越しとなった。ブロック内の横浜子ども会議は、リモート会議という形で実施した。近隣小学校の取組報告を聞いた児童が、その取組の良さや共感し、発信源となり「EAGOプロジェクト」と銘打って児童人権福祉委員会が主催して、本校でも同様の活動を実施した。職員同士は障害者スポーツを通して、交流を深めながら「ポッチャ」を体験した。互いに良い影響を与え合うことができた。 | B | |
| 学校関係者評価 | ①評価を見ると、子どもたちは学校が楽しいと思っているのがとてもよい。学校が楽しいのが一番。学校も「学校評価」のような客観的評価を求められ大変だ。②3年目を迎えた幼保小連携推進地区事業の取組は着実に成果を上げている。小学校だけでなく中学校とも交流している。交流を通して職員同士、顔の見える関係ができていく。子どもたちも交流を通して安心して小学校に入学できる。③地域と子どもとのつながりを強めたい。自治会でも子ども向け行事を企画し、子どもたちを地域に巻き込んでいくつもりだ。地域みんなで子どもたちに寄り添い、見守り、気にかけて、学校や地域を盛り上げていきたい。 | ①今年度は異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | B | 学校関係者評価 | ①今年度は異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | 今年度は、異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | 今年度は、異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | B | 学校関係者評価 | 今年度は、異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | 今年度は、異例のコロナ禍であったが、厳しい制約の中、出来る限りのことを工夫して実践してくれていた。また、このような中での50周年の年であったが、その中でも子ども主体での行事を行えたことはとても良かった。しかし、各行事や集団登校の中止などは残念であった。今年度も同様の状況が続くが、中止にするのではなく、工夫して取り組めることができる良いものではないか。②今年度は地域と学校が関わっていくのが難しい一年であった。しかし、これからは地域との連携は必要。出来る限りのことを考えて実践していきたい。③臨時休業の影響がSNSでのトラブルが若干あったようだ。学校でも授業などで子どもたちへ正しい使い方を教えてほしい。 | B |
| 中期取組目標振り返り | 中期学校経営方針1年目の今年度は、各重点分野の取組内容を前回の中期学校経営方針から継続している部分とさらに具体的な取組を含めて行ってきた。それぞれの分野で教職員が参画意識をもち、取り組んでいるところであるが、児童に身に付けさせたい資質と能力が全教職員と小中一貫中学校ブロックの中で共有され、目指す児童の姿になってきているかさらに検証を図っていききたい。そのためにも、1年目の振り返りをして、各部署の成果と課題の共通理解を図り、2年目の中期学校経営方針の具現化をさらに進めていきたい。 | 中期学校経営方針2年目は、新学習指導要領完全実施の年だったが、授業時間の確保や感染症予防の観点から制限される活動もあつたため児童に身に付けさせたい資質と能力が合っているか、目指す児童の姿になっているか、見極めることが難しい面があった。評価の仕方について研修を行い職員の共通理解を図ることができた。今年度は制約のある中での取組で、地域連携など思うようにいかない所もあつたが、2年目の成果と課題を最終年の中期学校経営方針の具現化のために生かしていきたい。 | B | 中期取組目標振り返り | 中期学校経営方針2年目は、新学習指導要領完全実施の年だったが、授業時間の確保や感染症予防の観点から制限される活動もあつたため児童に身に付けさせたい資質と能力が合っているか、目指す児童の姿になっているか、見極めることが難しい面があった。評価の仕方について研修を行い職員の共通理解を図ることができた。今年度は制約のある中での取組で、地域連携など思うようにいかない所もあつたが、2年目の成果と課題を最終年の中期学校経営方針の具現化のために生かしていきたい。 | 中期学校経営方針2年目は、新学習指導要領完全実施の年だったが、授業時間の確保や感染症予防の観点から制限される活動もあつたため児童に身に付けさせたい資質と能力が合っているか、目指す児童の姿になっているか、見極めることが難しい面があった。評価の仕方について研修を行い職員の共通理解を図ることができた。今年度は制約のある中での取組で、地域連携など思うようにいかない所もあつたが、2年目の成果と課題を最終年の中期学校経営方針の具現化のために生かしていきたい。 | B | 中期取組目標振り返り | 中期学校経営方針2年目は、新学習指導要領完全実施の年だったが、授業時間の確保や感染症予防の観点から制限される活動もあつたため児童に身に付けさせたい資質と能力が合っているか、目指す児童の姿になっているか、見極めることが難しい面があった。評価の仕方について研修を行い職員の共通理解を図ることができた。今年度は制約のある中での取組で、地域連携など思うようにいかない所もあつたが、2年目の成果と課題を最終年の中期学校経営方針の具現化のために生かしていきたい。 | 中期学校経営方針2年目は、新学習指導要領完全実施の年だったが、授業時間の確保や感染症予防の観点から制限される活動もあつたため児童に身に付けさせたい資質と能力が合っているか、目指す児童の姿になっているか、見極めることが難しい面があった。評価の仕方について研修を行い職員の共通理解を図ることができた。今年度は制約のある中での取組で、地域連携など思うようにいかない所もあつたが、2年目の成果と課題を最終年の中期学校経営方針の具現化のために生かしていきたい。 | B | |